



## 2018年度 第11回例会 「ロボット・AIと法」 ※若手研究発表も開催

公式CPD：3.0単位  
<その他>

今回は、東京大学大学院法学政治学研究科教授の宍戸常寿先生を講師に迎え、著書の「ロボット・AIと法」をテーマにご講演いただきます。また、休日シンポジウムの第2弾となる、データサイエンスに関する若手研究発表を開催します。

- ◆日時 : 2019年3月12日(火) 17:00～20:00 ※20分のコーヒーブレイクがあります。
- ◆会場 : TKP 赤坂駅カンファレンスセンター (ホール13A)
- ◆定員 : 400名程度
- ◆プログラム

### 1. 講演「ロボット・AIと法」(17:00～18:30)

宍戸 常寿 先生 (東京大学大学院法学政治学研究科 教授)

～ コーヒーブレイク (ホール13C) ～

### 2. データサイエンスに関する若手研究発表 (18:50～20:00)

齋藤 知輝 氏 (JMDC/ASTIN 関連研究会)

後藤 陽介 氏 (明治安田生命)

## ■講演内容

### 「ロボット・AIと法」

政府や経済界は現在、「Society 5.0」の実現に向けた取り組みを加速している。今後は、自動走行車、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの技術により、サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合するものと想定されている。とりわけビッグデータを対象に深層学習によって賢くなっていくAIシステムに対しては、制御可能性や透明性などの問題点を指摘する論者も多い。自律した個人から構成される社会を前提に組み立てられてきた様々な制度や法に対して、現在また今後、どのような課題が生じていくのか。「人間中心の社会」を実現するために、どのような取り組みが必要なのか。個人情報・プライバシー、個人の尊重、平等、責任などの論点を取り上げてみたい。

## ■講師プロフィール

### 宍戸 常寿 先生 (東京大学大学院法学政治学研究科 教授)



1997年東京大学法学部卒業、東京大学大学院法学政治学研究科助手、東京都立大学法学部助教授、一橋大学法学研究科准教授などを経て現職。専門は憲法、情報法。著書に『憲法 解釈論の応用と展開(第2版)』(日本評論社、2014年)、『ビッグデータ時代のライフログ』(共著、東洋経済新報社、2012年)、『ロボット・AIと法』(共編著、有斐閣、2018年)、『新・判例ハンドブック 情報法』(編著、日本評論社、2018年)、『メディア判例百選(第2版)』(有斐閣、2018年)など。現在、国立情報学研究所客員教授、第32次地方制度調査会委員、総務省情報通信審議会専門委員、総務省AIネットワーク化推進会議構成員、朝日新聞社報道と人権委員会委員、公益財団法人東京大学新聞社理事長、一般財団法人情報法制研究所理事など。



- ◆参加申込：3月7日(木)までに当会Webサイトの会員サイトにログインし、会員ごとにお申し込みください。

- 画面中央の「申し込み・アンケートのお知らせ」タブをクリック
- 「2018年度第11回例会参加申し込み」をクリック
- 所属先や連絡先に必要事項を設問に沿って入力
- 設問画面最下部の「回答」ボタンをクリックして完了

定員を超えるお申し込みがあった場合、参加者の抽選を行う・事前連絡なしに締切日を早める等の必要な対応を行う場合がございますので、予めご了承ください。

参加を強く希望される方は、お早めにお申し込みをお願いいたします。

- ◆講義資料：当会Webサイトの会員サイトからダウンロードしてご持参ください。  
当日の資料配布はございません。(3月5日(火)頃掲載予定)

- ◆その他：公式CPDの対象となります。

正会員の方は出席確認のため、CPDカードを忘れずにご持参ください。

## ●会場のご案内



TKP 赤坂駅カンファレンスセンター (ホール 13A)  
東京都港区赤坂2-14-27  
国際新赤坂ビル東館  
(千代田線「赤坂駅」5a 出口より徒歩 1 分)

お問い合わせ：日本アクチュアリー会 事務局 荒岡・山川  
TEL 03-5548-6033  
Email araoka@actuaries.jp  
yamakawa@actuaries.jp